

事業所名: グループホーム ファミリー

作成日: 平成 29 年 4 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新しい理念の構築を図る。	地域包括ケアシステムの中にある地域密着型サービス事業所としての現状を踏まえた理念構築を図る。	現在の地域社会情勢を鑑み、事業所内で完結するこれまでの運営理念に加え、地域社会との繋がりや連携など、地域包括ケアシステムの中での事業所の役割を視野に入れた運営理念を構築する。	3 ヶ月
2	2	地域の学校行事や幼稚園行事の参加も含め子ども達との交流を増やしていく。	地域の小学校・幼稚園の行事への参加を要請する。また、施設内行事への参加協力を呼びかける。	地域の幼稚園・小学校に当施設の特徴並びに現状をお話し、行事へ施設に入居されている方とスタッフの参加を通じ、園児や児童に認知症高齢者との交流体験をして頂きたい旨をお願いに行く。	12 ヶ月
3	28	利用者の残存能力(結晶的知識)の掘り出しに努める。	様々な残存能力について、生活場面での能力評価を行う。	当初目標として、調理場面へのチャレンジを通して「できる事探し」を行い、生活意欲の向上に繋げる。既に、調理(部分的)をお願いしている利用者には、より高度な調理能力の評価を試みる。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月